



この指新聞

メールアドレス

この指とまれHP



《共通》メール mail@konoyubitomare.or.jp

《法人本部・デイグループぱーく・相談支援にじ》

東京都東大和市清水3丁目 855 番地 2 TEL: 042-564-2883

FAX: 042-564-2873

《グループホームりずむ・りずむショートステイ》

東京都東大和市清水3丁目 785 番地 2 TEL: 042-564-3110

FAX: 042-564-3110

令和6年のご報告と今後の制度改定に望む事

理事長 鈴木真千子

日頃より、ご支援ご協力をいただき有難うございます。

昨年も書かせていただきましたが、厚生労働省の報酬改定が4月に行われました。期待していた結果にならず、報酬は上がりませんでした。

今年度は事業を見直し、経営が厳しかった放課後等デイサービス事業を2事業から1事業に統合し報酬改定に期待していました。当法人の中心的事業で発足時からの「デイグループほっと」の名前がなくなったのは寂しい事ですが、「**デイグループぱーく**」として発足当時からの理念は引き継がれ、元気に活動ができ良い影響も生まれています。子供たちの力に感心しています。今年の夏はことその他暑く、昨年同様、猛暑による欠席もあり、経営的にはまだまだ大変です。そのような中で、何とか支援の質を落とさず「安心できる場所」を提供するよう努めています。**放課後等デイサービス事業**の制度面では引き続き「夏休み等長期休暇時の体制が確保出来ない」「学校を卒業すると夕方の居場所がなくなる事」ことから、保護者の就労が守れない点が問題です。放課後等デイサービスの主な目的は「療育」です。しかし、保護者の就労を守るのも大切な役割です。誰もが安心して暮らせる**制度改定を心から望みます**。又、病気等の当日欠席には見合った保障もなく、運営が厳しい原因の一つになっています。**放課後等デイサービスの報酬を見直しを望みます**。



今年度の変更点のもう一つは「デイグループほっと」の部屋だった所は改装し、「**グループホームりずむ**」の女子の部屋にしました。「りずむ」は男子6名、女子3名の9名定員となりました。発足当初から男女混合の施設として運営していましたが、**より良い支援**をと数年前から男女別のユニット構築を目指し場所を探していました。今回の改装で、1階を女子の部屋、2階を男子の部屋とする事が出来ました。男性3名が新しく入所しました。全員短期入所経験者ですが、短期入所とグループホーム入所では全然違い、新たな関係が生まれています。新たな支援も必要になっています。そのような時、今年の報酬改定では報酬が下がりました。やりたくても出来ない支援があり残念です。**充実した支援を可能にする経済的支えを望みます**。



報酬が減っている中、**皆様からのご寄附**を今年も沢山いただきました。運営費に充てられる貴重なご寄附です。今回の改装費にも充てさせていただきました。皆様のご厚意に深く感謝申し上げます。

最後に、「この指とまれ」が発足してから28年、支えてくださっていた「**リサイクルショップらら**」が**12月20日**をもって閉店されました。経済的にも精神的にも「この指とまれ」を支えていただいていた。

本当に本当に有り難うございました。

放課後等デイサービス事業

☺️ デイグループぱーく ☺️

今年度4月より、「デイグループぱーく」一つに統合し活動を始めましたが、心配していた子供たちの移動もスムーズに行うことができ、小学生から高校生まで異年齢の児童が、毎日泣いたり笑ったり、にぎやかな声を響かせています。

それぞれ、遊んでもらったり面倒を見てあげたりと、良い相乗効果も生まれています。今年の夏も猛暑でしたが、外出もたくさんでき、色々な体験をしてきました。イオンモールへのおやつのお買い物学習は、品物に目を輝かせて選ぶ姿が印象的でした。

事業所では、念願のプールを購入しての水遊びに歓声が上がり、室内でのミニ縁日では、浴衣を着て盆踊りや的あて、宝探しなど、縁日気分を味わいました。

毎日の療育活動の中で、子供たちの笑顔を糧に、今後も安心してくほっとできる場所づくりに、スタッフ一同頑張っていきたいと思います。今後ともよろしく願いいたします。 (木原則子)



共同生活援助事業・短期入所事業

🏠 グループホームりずむ・りずむショートステイ 🏠

7月1日より男性3名の利用者の方が入居し9名となりました。以前から3名の方はショートステイを利用されていましたが、毎日となると状況が違い緊張の中、互いの様子伺いをしながらスタートしました。生活の中で感じる不安はまだあるようですが、少しでも和らげるように時間を作り向き合っています。その中で必要なアドバイスもさせて頂きながら話をしています。毎日バタバタの状況ですが、利用者間の中で一つのきっかけ（ジョークやものまねですが〜）などで自然と笑顔が増えてきています。

これからも一人一人が目標を持ち向かっていけるよう支援していきたいと思います。男女間共に茶話会や外出など、仲間との接点を持ちながら楽しい時間が更に作れたらなぁ〜と思っています。

ショートステイ利用も7・8月は、落ち着かない中での受け入れは不安があったので出来ませんでした。9月より様子見ながら再開しました。夕食後一緒にテレビ見ながら談笑したりと数時間楽しく過ごしています。今後も職員間で情報共有しながら支援していきます。

(高谷明美)

西武園遊園地へ外出

3人トリオ



指定特定相談事業・指定障害児相談支援事業

相談支援にし ☁️🌈

主に東大和市在住の方にご利用いただいています。初回の面談は、相談員が揃う、火・木曜日にお願いしています。現在の契約者数は児童44名、成人36名、計80名です。

ご本人やご家族が希望される生活を安心して送っていただけるようにとの思いで面談させて頂き、福祉サービスや地域に関する情報提供、ご提案、計画作成、モニタリングを行っております。ご希望に合わせて、利用する支援の種類や支給量などをいつでも変更することができますし、必要に応じて関係機関との話し合いも行います。困ったなと感じたら遠慮なくご相談ください。(前橋美保)

🌸会の行事🌸

この指とまれでは、法人全体行事として、「成人と卒業を祝う会」を行っています。

昨年度は令和6年3月23日に「成人と卒業を祝う会」を開きました。今回は高校卒業が4名と多く嬉しさと寂しさに、感無量でした。

又、卒業されてから2年経ち、成人を迎えられた方々をご招待し、お祝いする事は、卒業後どのような生活をしていらっしゃるか伺う事も出来、放課後等デイサービスに通っている方々にとって、将来の見通しをもてる場になっていると思いますし、私たちスタッフにとっても、大変嬉しい事です。

今年度は令和7年3月29日です。放課後等デイサービス在籍者、卒業生、グループホームりずむ関係者など誰でも参加する事が出来ますので、どうぞおいで下さい。みんなでお祝いしたいと思います。(鈴木真千子)



♪個別音楽療法♪ 《 NPO法人リサイクルショップ「らら」の補助を受け運営しています 》

賛助団体「リサイクルショップらら」の支援を受け、土曜日の午後に行っています。現在は、4名(卒業生)の方々が個別音楽療法に参加されています。担当スタッフは、2人です。スタッフの予定と利用者の予定が合う時に実施しているため、回数が減ってしまいました。

セッション回数は減ってしまいましたが、一人一人の実態や目標に合ったプログラムの中で、のびのびと自分を表現出来る場として、楽しみにしてくれています。

回数が少なかったため、「らら」からの援助金がまだ残っています。残っている間は、毎月出来なくても、大切な場として行っていきたいと思っています。(鈴木真千子)

🌸福祉祭🌸 福祉祭は毎年、NPO法人「リサイクルショップらら」のご協力のもと、「らら」の商品を売って、この指とまれの活動資金に当てさせていただいています。

コロナ禍で、縮小していた時期もありましたが、昨年以前のように市役所中庭で開催されました。新しく参加した団体もありましたが、参加団体が減ってしまい少し寂しい福祉祭でした。

例年通り、卒業生も手伝いにきてくれたり、懐かしい方々とも交流出来、楽しいひと時でした。

参加者は、ボランティア11名、この指とまれスタッフ10名、りずむ入居者2名、デイ卒業生3名、計26名が全員ボランティアで手伝って下さり、売り上げが80,059円(純益51273円)もありました。ありがとうございました。

今年で、「リサイクルショップらら」が閉店するのに伴い、「この指とまれ」の福祉祭参加を考えてみま

したが、「この指とまれ」の事業は、放課後等デイサービスとグループホームで、作業所のように福祉祭参加を作業日として代休を設ける事も出来ず、「リサイクルショップらら」の援助なしの物品販売の参加は難しく、今までのような形での参加は令和6年で最後になります。たくさんの方々に支えられ、沢山の思い出が出来ました。本当に本当にありがとうございました!!!

来年度以降の福祉祭参加の正式決定は、「令和7年度事業計画」を策定する、令和7年3月の理事会で審議、決定する事となります。よろしく願いいたします。(鈴木真千子)



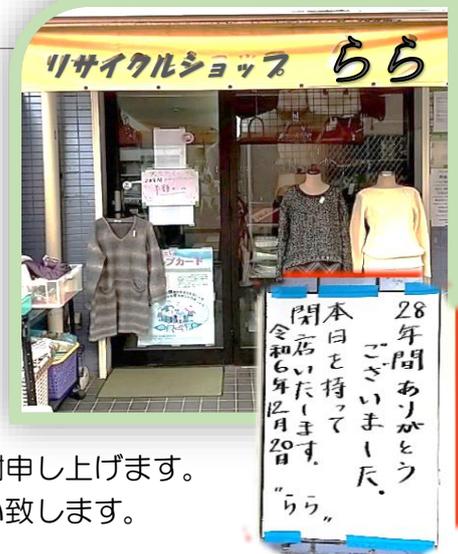
賛助団体

NPO 法人「リサイクルショップ らら」

私たちの活動は、寄附された提供品の衣類等をボランティアの手で販売し、利益を「社会福祉法人この指とまれ」に寄附し、その活動を支え、また資源再生活動の一環を担ってまいりましたが、諸般の事情により、令和6年12月20日（金）をもちまして閉店致しました。

平成8年4月に、障害児者が地域で安心して暮らしていける社会づくりを目的としてオープン以来、28年間、多くの皆様に支えられ、私たち

ボランティアスタッフも活動を通して充実した時間を過ごすことができましたことを心から感謝申し上げます。これからも「この指とまれ」へのご支援をお願い致します。



令和6年11月10日（日）に福祉祭に参加しました。テントを張って、「この指とまれ」の旗を見て、多くの方がお買い物を楽しんで下さいました。朝早くから午後の片付けまで、ボランティアの方々、スタッフの方、本当にありがとうございました。

子どもの時「この指とまれ」に通っていて、今成人した何人かが手伝いに来てくれてうれしい交流もできました。

終わりに、9月に入ってすぐ閉店のお知らせを貼りだしました。来店された方々が淋しくなりますね”これから困ったなあ”と皆さんが口々に閉店を惜しんで下さいました。市民の皆様からの品物の提供、遠方からの宅急便でのご支援が本当にうれしかったです。店内の椅子に座り込んでお話しされたり、“旅行に行ってきたのよ”と楽しかったお話を聞かせて下さったり、スタッフとの交流でいつまでも店内が和やかでした。ボランティアの皆様の誠意と惜しみないご尽力のおかげでした。心からお礼申し上げます。

NPO 法人「リサイクルショップらら」理事長 千葉 総子



ご寄附のお願い

当法人は、障害児を育てる親たちと、サポートしてきたボランティアスタッフが「この指とまれ」と集まり発足して以来、色々な障害、幅広い年齢を対象とすることを法人の長所としており、放課後等デイサービス事業、共同生活援助事業、短期入所事業、指定特定・障害児相談支援の4事業を運営しています。

福祉事業の報酬改定による減収は令和6年4月改定も続き、コロナ禍での利用人数の減少による大幅な収入減、物価高騰による影響を受けながらもサービスの維持に努めることは簡単ではなく、経営は非常に厳しい状況です。当法人の理念に基づき、必要不可欠なサービスを提供し続けるために、何卒、趣旨をご理解いただき、多くの皆様からのご支援を心よりお願い申し上げます。頂いた寄附金は、より一層の充実した事業運営のための貴重な財源として、大切に活用させていただきます。また、「税額控除対象法人」として、「税額控除に係る証明書」の交付が出来ます。確定申告にご活用いただけます。

ご寄附の方法

- 「寄附申込書」に必要事項をご記入の上、当法人本部までご提出をお願いいたします。
※銀行振込または郵便振替の場合には、郵送又はFAX（042-564-2873）でご提出ください。
※寄附申込書は当法人ホームページからダウンロードしていただくか、ご連絡をいただければ送付させていただきます。
- ご寄附の方法には次の3通りございます。
 - ① 現金（持参） 「社会福祉法人この指とまれ法人本部」まで、寄附申込書と一緒に持参ください。
 - ② 銀行振込（三井住友銀行 東大和支店）
【口座番号】普通 4263883 【口座名義】社会福祉法人この指とまれ
 - ③ 郵便振替 【口座番号】00100-9-387225 【口座名義】社会福祉法人この指とまれ

●編集後記●

今年は、放デイやグループホーム、リサイクルショップららにとって、大きな変化の年となりました。本部も経費削減や体制の見直しなど、より一層力を入れて、法人の運営を支えられるように頑張っています。インフルエンザが流行っていますので、皆さま体調には、くれぐれもご愛ください。“ホッと一息”自分を労わる時間が少しでも持てますように…

ららの皆さん
今まで本当に
ありがとう！

